

The background image shows a river scene with several workers in safety gear. One worker in the foreground is wearing a yellow jacket with 'OHMATSU' written on the back and a white hard hat. Another worker in a green jacket and white hard hat is visible on the right. A blue banner is hanging from a tree on the left. The scene is outdoors with trees and foliage.

堀川1000人調査隊2005

自由プログラム

堀川へドロ調査報告書

株式会社 大増コンサルタンツ調査隊

2005年11月19日調査

平成 18 年 1 月 20 日
株式会社 大增コンサルタンツ調査隊

堀川 1 0 0 0 人調査隊 2005

「堀川へドロ堆積状況の調査」

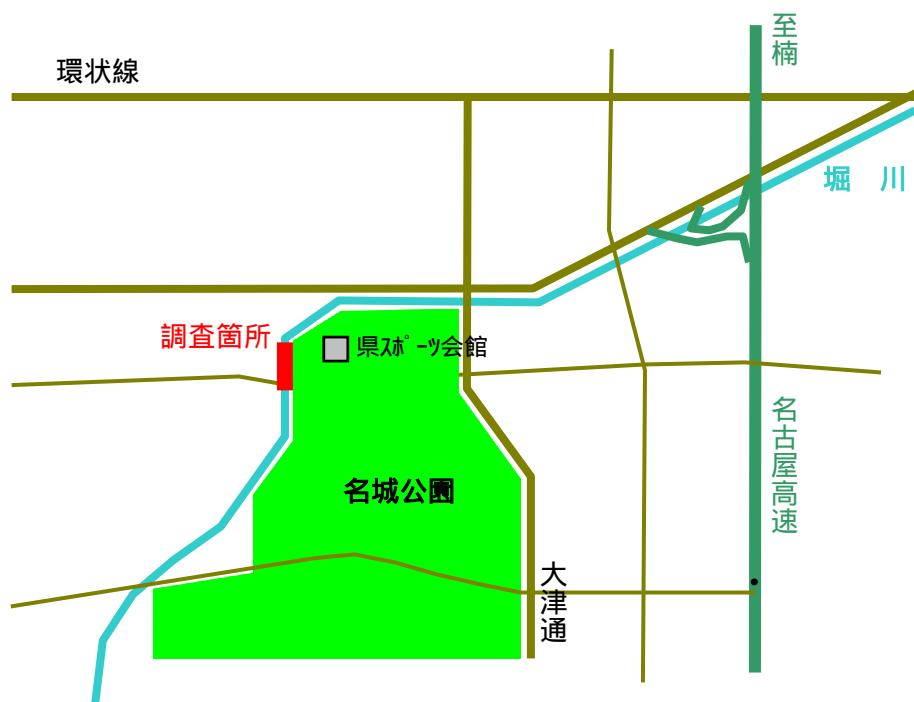
目 的

堀川は臭い臭いと言われていますが、その原因の一つであるへドロがいったいどれくらい堆積しているのかを前回(平成 16 年 3 月、5 月)調査いたしました。その後、1 年半の歳月が流れ、どのように変化したかを調査させていただきました。

調査日

平成 17 年 11 月 19 日(土) 午前 9 時 0 分 ~ 午前 10 時 30 分

調査場所(前回と同じ)



作業方法

下流側の中土戸橋を0mとし、上流に向かい10m間隔でヘドロ面(河床)・ヘドロ面下を測定する。観測は安全を考慮し、名古屋市上下水道局管理施設(図3:中土戸橋上トータルステーションから上流へ約145m)の手前15mまでとする。

トータルステーションから10m毎に、スタッフでヘドロ面下・河床を観測(図5)し、ヘドロ下と河床の差により、ヘドロ厚を確認する。また、KBM1(1)を基に、観測開始時及び観測終了時の水位を計る。

船の移動はロープにより、兩岸のロープマンが行う。測定箇所は光波を使用し、船の誘導を行い観測する。

- 1 基準とする高さで、近くの距離標(コンクリート杭)を使用する。

図1



図2



図3



図4

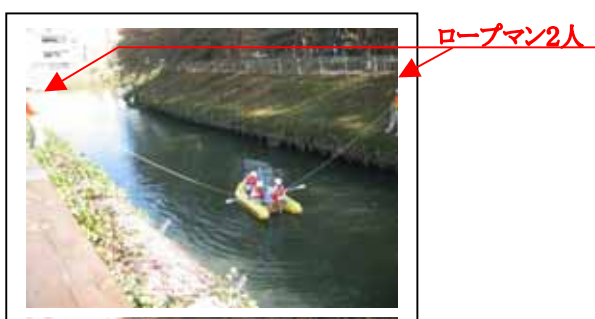
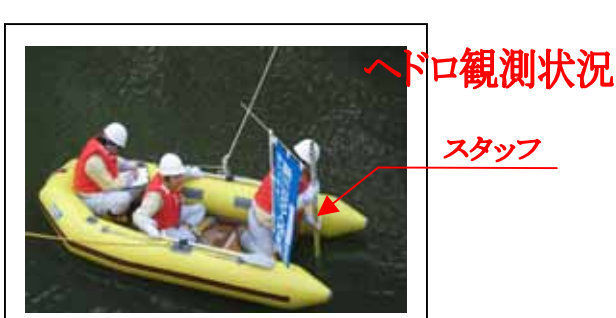
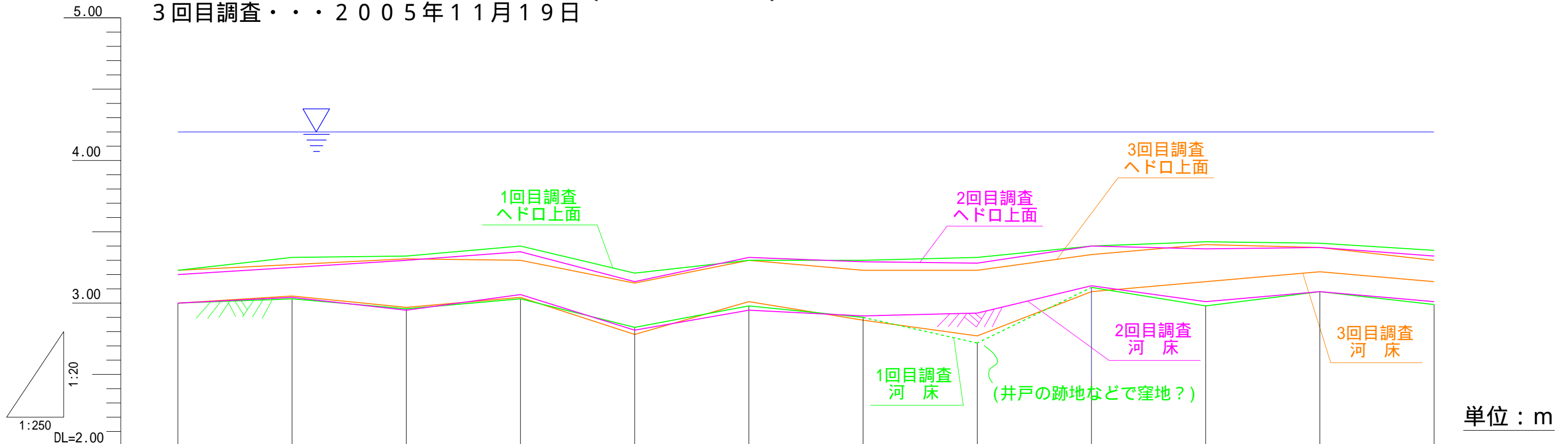


図5



へドロ厚調査結果

1回目調査・・・2004年 3月27日 (導水0.3 t/秒)
 2回目調査・・・2004年 5月14日 (導水1.0 t/秒)
 3回目調査・・・2005年 1月19日



単位：m

1 回 目 調 査 上 面	3.23	3.32	3.33	3.40	3.21	3.30	3.30	3.32	3.40	3.43	3.42	3.37
1 回 目 調 査 河 床	3.00	3.03	2.96	3.03	2.83	2.98	2.90	2.72	3.11	2.98	3.08	2.99
1 回 目 調 査 堆 積 厚	0.23	0.29	0.37	0.37	0.38	0.32	0.40	0.60	0.29	0.45	0.34	0.38
2 回 目 調 査 上 面	3.20	3.25	3.30	3.36	3.15	3.32	3.29	3.28	3.40	3.38	3.39	3.33
2 回 目 調 査 河 床	3.00	3.04	2.95	3.06	2.81	2.95	2.91	2.93	3.12	3.01	3.08	3.01
2 回 目 調 査 堆 積 厚	0.20	0.21	0.35	0.30	0.34	0.37	0.38	0.35	0.28	0.37	0.31	0.32
3 回 目 調 査 上 面	3.23	3.27	3.31	3.30	3.14	3.30	3.23	3.23	3.34	3.41	3.39	3.30
3 回 目 調 査 河 床	3.00	3.05	2.97	3.04	2.78	3.01	2.88	2.77	3.08	3.15	3.22	3.15
3 回 目 調 査 堆 積 厚	0.23	0.22	0.34	0.26	0.36	0.29	0.35	0.46	0.26	0.26	0.17	0.15
堆 積 厚 の 差 (2 回 目 - 1 回 目)	-0.03	-0.08	-0.02	-0.07	-0.04	+0.05	-0.02	-0.25	-0.01	-0.08	-0.03	-0.06
堆 積 厚 の 差 (3 回 目 - 2 回 目)	+0.03	+0.01	-0.01	-0.04	+0.02	-0.08	-0.03	+0.11	-0.02	-0.11	-0.14	-0.17
追 加 距 離	0.000	10.000	20.000	30.000	40.000	50.000	60.000	70.000	80.000	90.000	100.000	110.000

1回目平均へドロ厚：37 cm
 2回目平均へドロ厚：32 cm 平均差：-5 cm
 3回目平均へドロ厚：28 cm 平均差：-4 cm

調査結果

平成16年 3月27日調査	平均ヘドロ厚	37 cm
平成16年 5月14日調査	平均ヘドロ厚	32 cm
今回 平成17年11月19日調査	平均ヘドロ厚	28 cm

ヘドロ厚の経年変化を我社なりに分析すると、導水量増加は確実に影響していると思われます。今後導水量増加を継続すれば、ヘドロ厚の減少に繋がることがわかりました。

我々堀川1000人調査隊は、「堀川を清流に！」をキーワードとして活動を行っています。今までの観測結果から、堀川をきれいにする意識を高めれば、堀川はきれいなることがわかりました。

我々堀川1000人調査隊は今後、「堀川を清流に！」の意識を官公庁・企業を含む名古屋市民全体にまで広め、近い将来堀川を清流にすることが課題なのだと思います。

調査参加者 12名

以上